スーパービジョン制度の意義とあり方

はじめに

カウンセラーにとってスーパービジョンは必要不可欠なものである。カウンセラーは自分で気づかない傾向や癖をもっていることもあり，それは問題解決の妨げになるばかりではなくクライエントにとっての苦悩につながることもある。カウンセラーがそうした自分の傾向や癖に気づき，クライエントへのカウンセリングや支援の適切なあり方を知り，間違いを修正するためにもスーパービジョンは重要な意味や役割をもつ。スーパーバイザーの第三者的な見方や支援の方法への助言が必要になる。

この度日本学校教育相談学会では，認定カウンセラーのためのスーパービジョン制度を立ち上げることとなった。現在学校カウンセラー資格をお持ちの会員はもちろん，これから資格をとられる会員の方々にも有効に活用され，ますますの学会のそして学校カウンセラーの資質の向上や発展に寄与できることを願ってやまない。

１．学校カウンセラー・スーパービジョンの意義

（１）スーパービジョンとは

専門家養成の途上にあるカウンセラーや現職カウンセラーがその専門的な能力・対応力・責任能力の向上をめざして，先輩カウンセラーから直接に具体的な指導助言や教育を受けることである。

スーパービジョンを受ける人（以下，スーパーバイジー)が，自分が実施した心理面接や，心理検査の資料を具体的に報告し，報告をもとに指導する人(以下，スーパーバイザー)から，相手の心理の理解の仕方や，面接の進め方，検査の判定手順や技法について指導助言をうける。こうして，カウンセラーやセラピストの養成や実力向上・資質の向上のためには欠かせないものである。スーパービジョンでは，スーパーバイジーの担当している事例や直面している問題についてどのようなアセスメントと介入が行われているかを検討し，助言指導や教育を行う。

（２）スーパービジョンの目的

スーパーバイジーの専門的能力並びに資質の向上を目指して行われる。そのため，スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係は信頼関係に結びついた関係でなければならない。専門職としての役割遂行のために，次のような援助を行う。

①面接の技法や技術を学ぶ，②ケース理解・ケースの概念化を学ぶ，③クライエントのエンパワーや外的リソースの活用，記録，現場のルール，倫理の遵守などについての指導，④スーパーバイジーの自己理解の深化（ケースを通して自己理解を深めるが，教育分析とは異なる）

（３）スーパーバイザーの実践の目的

①スーパーバイジーをサポートし，自信を持たせる，②対応の改善点について気づかせる，スーパーバイジーの能力を引き上げようとする，③スーパーバイジーが，担当するクライエント（児童・生徒・保護者など）に最良の援助が提供できるようになる。

（４）スーパービジョンの実際

スーパービジョンは，実践を通して行われる具体的，直接的，個別的訓練をさし，評価的な介入が行われるのが一般的である。スーパーバイザーとスーパーバイジーはカウンセラー関係であり，同時に上下関係でもある。スーパーバイジーはスーパーバイザーに支えられる安定感がその後のカウンセラーとしての実践行動に何よりも大切になる。

２．学校教育現場でのスーパービジョンのあり方

スーパービジョンは，スーパーバイザーとスーパーバイジーが協働し，当該事例について，クライエントの援助について必要なことがら（見立て，面接や対応の流れ等）を考え，それらを通して事例の理解を深め，さらには，スーパーバイジーのアイデンティティ獲得への協働の作業でもある。スーパービジョンは指示よりも，共に協働作業をすることであり，①制度論，②臨床実践の二つの観点から考える。

３．学校教育現場でのスーパービジョンの内容

スーパーバイジーは，クライエント（児童・生徒・保護者）へのかかわり方やそのスキルについて次の点をとりあげる。

①その意味を考える，②何が起こっているのか，リレーションはできているのか，どんなやりとりが行われているのか，その結果どのように展開しているのか，次にはどのように展開していくのかを，検討し予測する，③それらをスーパーバイジーがどのように認識しているかを丁寧に検討する，④スーパーバイジーの感情・認識・行動を再構成し，理論的な意味づけを行い，具体的な対応法の提案やモデルの提示を行う，⑤アセスメントや介入の具体的方法やスキルに関する理論的な理解を深め，自信をもってあらたに臨めるように助言・指導・教育を行う。

４．スーパーバイジーの形態

スーパービジョン（以下，ＳＶ）には，個人ＳＶとグループ・ＳＶ，事例研究会などがあるが，その他にもさまざまな形式がある。

①個人ＳＶ，②ピア（仲間）・ＳＶ，③グループ・ＳＶ，④ピア（仲間）・グループ・ＳＶ，⑤事例研究会，⑥事例検討会・ケースカンファレンス，⑦教師のサポートグループ，⑧ロールプレイ

５．スーパービジョンの必要性

①第三者に指摘されることで自分の癖や偏りに気づく，②辛いときの心の支えを得る，③専門的知見や洞察力を高め，感性や気づきを養い，それを理論や知識に結びつけて実践へとつなぐことができる，④スーパーバイジーは先輩の姿を見て，聴いて，雰囲気・態度・姿勢を体験する（モデル），⑤自分らしさを生かしつつ自信をもって対処できるようになる。